

# DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2002.1.28 No.39

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

## No.39



雪景色のキャンパス

## CONTENTS

学長の初夢 澤岡 昭

「ソユーズで国際宇宙ステーションへ」

スキー・スノーボードスクール

### TOPICS

第5回ロボットグランプリ

国際共同研究 下島榮一教授

海外留学報告 嶋田喜昭講師

キャンパスライフ クラブ活動報告

アンテナ

情報学科が承認される

澤岡学長再任

オータムフェスティバル2001

ゴビーの散歩道 高田和之教授

「7年間の歳月を過ごせて」

### INFORMATION

情報学部!  
設置認可される!

季刊

大同工大キャンパス



冬季号 2002  
JANUARY

# 1

# ソユーズで国際宇宙ステーションへ

私が真顔で日本最高齢の宇宙飛行士になりたいと云うと、「子供の頃からの夢ですか」と聞かれることが多い。私がハッキリと宇宙飛行士を意識したのは1983年のことであるから、44歳の頃だ。年をとってからのハシカは重いついから、私の宇宙飛行士病は相当に重症なのかもしれない。

2002年の初夢、それは私が宇宙飛行士としてロシアのロケット・ソユーズで、建設中の国際宇宙ステーションへ向けて飛び立つところで、惜しくも目がさめた。以下は夢物語であり、フィクションであることをくれぐれもお忘れなく。

## 1983年

私のはじめて宇宙開発の仕事に係わったのは1979年のことだから、もう27年も前のことになる。当時は東京にある理工系大学の助教の頃だ。6月のある日、当時の宇宙開発事業団のS氏が私を訪ねてきた。NASA（米国航空宇宙局）のスペースシャトルを使った宇宙実験プロジェクトを手伝わないかという誘いであった。

新素材開発を宇宙実験の主なテーマにしたいので、材料研究の専門家を捜しているとのことであった。スペースシャトルの半分を借りて、日本人宇宙飛行士の手で実験を行う計画であった。

この話を聞いたとき、私は宇宙実験そのものより、日本人宇宙飛行士のほうに興味があった。その年の秋から、週2回の宇宙開発事業団勤めが始まった。最初の仕事は宇宙実験テーマ募集であった。

スペースシャトルの最初の打上げが1981年に行われた。日本の実験予定は86年であった。宇宙飛行士の募集は83年に行われた。募集が開始したが、なかなか目標の100人に達しなかった。理系の博士号をもち、研究業務の経験があることが条件であった。この条件は私にピッタリであった。

なかなか応募者の数が増えず、宇宙開発事業団では、内部の人間を応募させて、数を確保することが検討されはじめた。私もその候補者の1人であった。そのことを聞いたとき、

私はまんざらではなかった。声がかかったら応募し、難関に挑戦するのも悪くないと考えていた。

応募者が増えないのは、職場の責任者の同意書が必要であり、内緒で応募できないからであった。しかし、その年の暮れには応募者の数が急に増えて、内部の人間を応募させるというはなしは立ち消えとなった。

私にとって問題であったのは、「過去に記憶喪失の経験のある者は宇宙飛行士になれない」という選考条件であった。私は大学院生の時、北海道二セコ山頂付近をスキー滑走中に転倒して頭を強打、半日記憶喪失の経験があった。これを正直に申告すると、書類選考の段階ではずされる可能性が大きかった。

1986年1月、スペースシャトル・チャレンジャー号の爆発事故によって、日本人宇宙飛行士候補者毛利衛、向井千秋、土井隆雄の訓練がストップした。この年の4月からこの3人はアメリカで訓練の予定であったが、スペースシャトル運行再開の見通しはなかった。

当分は国内で勉強することとなった。週1回、午後一杯英語で行われる理工学ゼミを私が担当することになった。半年以上が過ぎた頃には、飛行士候補者3人と意識を共有する中で私も宇宙飛行士になりたいとの気持ちがだんだん強くなっていった。

予想よりはるかに早い88年に飛行が再開され、92年に毛利が、94年に向井が、97年に土井が初飛行を行った。

日本政府は1985年にアメリカの国際宇宙ステーション計画に参加を表明し、私の宇宙開発事業団での仕事はスペースシャトルから国際宇宙ステーションの利用計画の立案へと変わっていった。この仕事は99年に大同工業大の学長に就任してからも続いた。

私は大同工業大学を2005年3月に退職した。その年の4月には本学に医療理工学部が新設され本学は3学部8学科へ成長していた。私は老化が進まない内にできるだけ早く国際宇宙ステーションを訪問して、20年以上係わってきた仕事に区切りをつけたかった。

しかし、2006年に予定されていた宇宙ステーションの完成は2008年に延びていた。

2001年から深刻化した世界的不況は03年頃から回復し始めたが、その影響でステーションの建設資金は足りなく、完成時期は遅れる一方であった。まだ1～2年は延びるかも知れなかった。最悪の場合、国際宇宙ステーションは2010年に完成し、私は72歳になってしまふ。

## ソ連崩壊前夜のモスクワ

1990年12月TBS（東京放送）の秋山豊寛は、ソ連の宇宙船ソユーズで打ち上げられ、宇宙ステーションミールに1週間滞在した。宇宙開発事業団が日本人最初の宇宙飛行士を誕生させる計画立案者にとって無念の事件であった。

TBSの社員から選ばれた2人の候補者は打上げ直前まで、モスクワ郊外の星の町で訓練が行われた。

TBSがソ連に支払った額は、約40億円といわれている。当初の契約では2000万ドル（26億円）であったが、これは基本金であり、地上へのテレビ中継などの追加項目については、相当に高い額が要求された。当時日本の経済はバブル絶頂期であり、追加支払いにぶつぶつ言いながら、TBSは同社の記念事業として、日本人初宇宙飛行士の誕生に一役買った訳であった。

1990年春、私はモスクワを訪ねていた。訪問先は科学アカデミー宇宙研究所であった。夜は宇宙実験部長のM博士の自宅に招待された。

会話が弾み、私は酒の勢いで宇宙飛行士になりたいと云った。TBSの秋山さんのように、ソユーズでミールへ行きたいといった。ただし、一銭も払えないと云った。同席のアカデミー会員である大物S教授は真面目に検討してみると云った。酒の上での冗談程度に考えて帰国した。

その年の12月秋山特派員は無事に宇宙飛行を終えて帰国した。



国際宇宙ステーション完成予想図（NASA提供）



ソユーズロケットの打上げ

91年1月に突然M博士から1通のファックスが舞い込んだ。そこには「無重力下でのダイヤモンド膜合成の共同研究を実行したいので、詳細な計画書を送ることを要請する。宇宙実験装置は日本側で用意すること、実験者として貴殿のミール滞在に努力することと書かれていた。

どんなに安く見積もっても必要な実験装置の製作には1億円は必要だ。その上、当時、日本からソ連へ持ち出せるハイテク機器はコム(対共産圏規制物資規則)によって制限を受けていた。32ビットのパソコンさえコムの対象であった。どんなに急いでも資金確保は92年までかかる見通しであった。

忙しく準備を進めていた91年夏にソ連が崩壊してロシアが誕生し、M博士の消息が途絶えた。それから2年後、夫と離婚して、アメリカへ移住し、アメリカ人教授と結婚したM博士から共同研究を再開したいとの手紙を受けとった。彼女の生命力の強さには驚かされたが、宇宙飛行の機会のない共同研究にはもう魅力はなかった。

## 国際宇宙ステーションへの招待

大同工業大学を退職する前の年2004年の10月、私は文部科学省の日露科学協力推進委員会委員長として、10日間にわたりシベリアの研究機関を訪問した。ウラル山脈から東側をシベリアと定義すると、シベリアはロシア連邦の半分以上を占める広大な地域である。西シベリア平原の東端の学術研究都市ノボシビルスク訪問の後、シベリア中央に位置するクラノサルスクを訪問した。

クラノサルスクには大きな水力電力所があり、原子爆弾製造のためのウラン濃縮工場があった都市である。この都市で行われた歓迎夕食会には、大統領科学補佐官T教授がモスクワから私に会いにきた。10年振りの再会であった。

1994年夏にクラノサルスクで開催された国際会議の主催者を務め、アカデミー会員でもあるT教授は、2002年秋からプーチン大

統領の科学補佐官を務めている大物学者でもあった。国際会議のパーティで、彼と私は生まれた年が同じであることで意気投合し、何回もウオッカで乾杯をくり返している内に私は意識を失い、気がついた時は彼のアパートのベットであった。それから、クリスマスカードを交換していたので、モスクワに住所が変わったのは知っていたが、

大統領補佐官になったことは全く知らなかった。

夕食会の後、彼の実家で再会を祝してお決まりのウオッカで乾杯がくり返された。今度は醜態は見せられない。話題は2001年に廃棄されたロシアの宇宙ステーション・ミールのこと、ロシアも参加して建設大詰めの国際宇宙ステーションなど話題は尽きなかった。

酔いつぶれる一歩前で踏み止まり、ホテルへ帰る別れ際、彼は私にまだ宇宙へ行くという望みに変わりないかと聞いた。1990年に私がコム違反を犯してまでも、ミールステーションに行きたかったという危ない話を、国際会議のパーティで彼にしたことを覚えていたのだ。

翌朝、ホテルへ彼が真顔で私を訪ねてきた。日露共同プロジェクト推進の象徴として、建設中の国際宇宙ステーションに私が搭乗できるように大統領に働きかけてみたいとの提案であった。

私にとってはこんなうまい話はない。宇宙飛行士としての医学検査に合格できるだろうか、急に心配になってきた。私は2005年3月に大同工業大学を退職後直ぐにロシア語の特訓を開始した。留年を含めて大学で3年間ロシア語を勉強したことがここで役立つとは思わなかった。

夏から3ヶ月、トレーナー指導のもとに体力増強訓練が行われ、酒も断った。10月にモスクワで医学検査を受け、なんとか合格した。しかし、ロシア政府筋からの圧力で、検査は相当に甘かったことを後にモスクワ郊外に星の町での訓練の時、担当の医者から聞いた。

ロシアではすでに4人の外国人を建設中の国際宇宙ステーションに接続しているロシアの居住棟に搭乗させていた。ただし、1週間の宇宙滞在と往復合わせて費用は200万ドル(26億円)であった。私の場合は無料である。しかし、ただ程高いものはないのではないか。26億円相当の見返りをロシアが求めないはずはない。しかし、宇宙への魅力には勝てなかった。

2006年9月30日05時55分

私は2人のロシア人飛行士とカザフスタン共和国にあるロシアのロケット打ち上げ場の朝靄のなかで立ち小便をしていた。打ち上げ直前、ロシア人宇宙飛行士は射場で放尿することがソ連時代以来の伝統であった。狭いソユーズロケットの司令船の中で体を固定されたまま打ち上げが延期された場合の排尿は、事前に装着した紙おむつにするしかない。直前の放尿は必須のことであった。

我が国も参加している国際宇宙ステーションの建設は延びており、日本人宇宙飛行士達はしびれを切らして完成を待っていた。私だけが抜け駆けして未完成の国際宇宙ステーションのロシア居住区に滞在することは許されることではないと非難した新聞記事があったが、大方のメディアはむしろ痛快なできごととして面白がっていた。

高齢者の星として宇宙へ行くのだ。誰にはばかることはない。私は強気であった。しかし、ロシアでの訓練は予想よりはるかに厳しいものであった。何度も音を上げそうになったことか。なんでこんな馬鹿なことをしなければならぬのかと独り涙を流したことが何度もあった。

2人のロシア人飛行士とソユーズ司令船の狭い座席に固定されながら、ただより高いものはない、ロシアは私に何を代償として求めているのか、急に不安になった。打ち上げ時の加速による荷重はシミュレータによって経験済みであったが、むしろ、振動と騒音の方が想像していたより先激しいものであった。

司令船とロケットが切り離され、無重力状態になる。だんだん、気分が悪くなる。宇宙酔いだ。吐き気、頭痛、むかむか、正に二日酔いの気分だ。

2002年1月2日早朝5時55分に見た初夢である。目覚め後は本当の二日酔いであった。さあ、今年も頑張ろう。



建設中の国際宇宙ステーション  
(2002年1月、NASA提供)

第38回

# スキー・スノーボードスクール



クラブ委員会主催、第38回スキー・スノーボードスクールが1月4日から9日までの6日間の日程で、長野県志賀高原で開催されました。今年は例年に比べて積雪、雪質ともに好条件のもと、学生部次長の棚橋秀行スクール校長に学生38名、学生室から神谷七五三、伊藤雅士の室員が参加。スキー参加者22名は横手山スキー場、スノーボード参加者16名は笠岳スキー場にそれぞれ分かれて、8日のパッチテストの日までレッスンが行われました。参加学生らは、おおいにエンジョイし学生生活の思いでの1ページを飾りました。

ただ今、講習中でございます。



目標は1級合格っす。



ヤッホーイ!!



目標は、ズバリ「モテル」 イェーイ。



お疲れ、カンパイ。



合格しちゃいました。ニン。



いざ、講習へ。その前にハイポーズ。うーさむ。



天気もサイコー。



スノーボード初挑戦。感想は？  
「頭がさむかったです」



え～ パッチテストをします



ソリが、  
ダァッ!!



ビデオカメラでフォームチェック中。



肩の力を抜いて。



歯をみせないっ!!



クラブ委員会ゲレンデでもミーティング

「トイレ行く...?」



ドリヤァッ!!



スキー部もがんばりました。

## 第5回 ロボットグランプリ くじめ 蘭目君「からくりロボット競技会」で堂々の3位入賞



(社)日本機械学会主催「第5回ロボットグランプリ」が11月17日、パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)で開催され、からくりロボット競技会に出場した西堀研究室蘭目(くじめ)和也君(機械工学科4年)の作品「ロボよ、わたれ!!」が3位(銅賞)入賞を果しました。

自宅で、実験ビデオを何度も繰り返し見て見る。ロボットが最初のブランコから、次のブランコに乗り継ぎ、更に次のブランコへと、巧く乗り継がないで失敗して落ちるロボットを見飽きるほど見ていたある日のこと、かれこれ2時間ほど見続けていたその時だった。「そうだ!ロボットの渡る位置の高さを変えればいいんだ。摩擦

だ!」彼の脳裏にはロボットが4つのブランコを渡って行く光景が鮮明に映った。

「ガチャッ! アッ、遅かったか、残念。」午後9時半、製作・実験をしたくても本館に入れない。当然、10階にある西堀研究室にも行けない。遣るかたない気持ちで引き返したこともあった。

「これに気が付くまでの道のりは言葉で言い表せない程、苦しく辛かった。」夜間主である彼は社会人コースの入学で、時間には制約がある。何度となく投げ出したくなる気持ちを思い留めさせてくれたのは、社会人としての意地があつたからと答えてくれた。

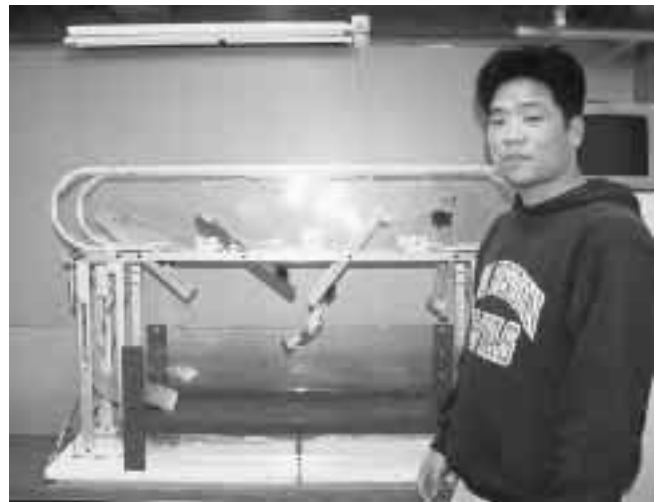
競技会当日、彼は空中ブランコの装置をセットしながら、他の出展ロボットを見渡して、ロボットが巧く4つのブランコを乗り継いでくれば、入賞間違いなしと確信を得ていた。

「アレ! 渡ってくれない。」何度も、何度も繰り返すが、非情にもロボットは途中で落ちてしまう。「大学では9割以上の確立で渡ってくれるのに、何故だ。」本番を迎えても、ロ

ボットは渡ってくれない。審査の途中で、床が水平になっていないことに気付いた。早々に装置を水平にして挑戦してみる。「渡ったぞ!」それを見た二人の外国人審査員が、「Great! Dynamic!」Great! Dynamic! 絶賛した。

審査発表、「第3位、ロボよ、わたれ!! 蘭目 和也君」司会者の声が響いた。

「ロボットグランプリ」は「ロボット創造国際競技大会(ロボフェスタ)」の公認競技として開催されているために、双方から受賞する幸運に恵まれました。



## 新刊著書を語る

### スポーツと栄養

A 5 版 110 ページ

著者 服部洋児保健体育教室助教授 他

出版社 株式会社 イグゼミナ

発行日 2001.6.1



生命体としての生体内の仕組みや基本的な機能は、特別な異常のない限りみな同じである。しかし、その機能の程度については様々である。ある種の環境条件下に置かれた場合、環境に応じて変化し、ある機能は向上し、ある機能は低下する。その結果として、その環境下に応じた生体機能を獲得することになる。つまり、生体は基本的な機能は維持しながらも、環境条件の変動に適応するためにその機能を微妙に変化させている。その意味でスポーツ活動は生体に対する環境刺激の一つと考えられ、スポーツ活動をすることにより生体の諸機能を変化させることになる。

スポーツ活動は一般にそのパフォーマンスが要求される。記録、成績を追求するものもあれば、健康の維持増進を追求するようなパフォーマンスもある。しかし、いずれも様々な刺激を与えそのパフォーマンス達成のために必要な生体の機能変化を行うことになる。それぞれのパフォーマンス達成に必要な処方、トレーニングがなされるが、その時に適切な栄養対策を同時に行うことによりその効果が最大限にもたらされる。スポーツ活動では生体にある種の特異的な環境条件をもたらす、最大のパフォーマンスを発揮させるために、それにふさわしい栄養対策が考えられるべきである。そのため、本書はスポーツ栄養学の面からスポーツと栄養との関わりを検討したものである。(対象者)スポーツ指導者、スポーツ愛好者

# 第18回 JIA 東海支部建築設計競技 岩田光洋くん“銅賞”受賞



日本建築家協会東海支部主催、朝日新聞社後援の建築設計競技テーマ「場所の記憶」に応募した岩田光洋君（建設工学科建築学専攻4年）の作品「A gutter of nagoya(名古屋の溝)外堀の再生」が“銅賞”に入選し12月1日、朝日ホール(中区栄)において表彰を受けました。岩田君は、昨年「循環式トイレ」モナレット”デザイン競技(クメテック株式会社・鬼頭鋼材株式会社主催)の入選に続いての受賞となりました。

“場所に問う”は、私達の日常生活の広がりにおいて、営みの記憶やその蓄積を刻み込んでいる場所に焦点をあて、人々の心に刻み込まれた痕跡(場所の記憶)に着目し働きかけ、人間の営為として建築や空間を再生・復活・創造させることをテーマとして行われ、応募作品74

点(学生の部)ありました。  
「A gutter of nagoya(名古屋の溝)外堀の再生」

名古屋城の外堀は、名鉄瀬戸線として70余年間利用されてきたが、市街地の中心「栄」まで延長されてからは、雑草が生い茂るだけの荒地となっている。名古屋城及び名古屋市一帯は太平洋戦争で焼失した過去の悲しさを持つ



ている。その場所がもつその記憶を平和記念館として提案した。城を外部から護るという役割から鉄道路線へと再利用されたが、不要になった現在、荒地化となっているその場所に、記憶をとどめる空間をつくった点が評価されました。

**受賞の声：**表彰式当日、卒業研究作品の模型制作材料を購入していて遅刻し、学生の部の表彰が終わる寸前、表彰式担当者の気転によって急遽、表彰を受けることができた。「でも、チョットがっかりしたことも、提出3週間位は、自宅に帰らず作品の製作に費やして、食料の調達等を友人らに頼っていたので、この賞で返すことが出来ると思っていたら、残念にも賞金は出なかった。」と笑って答えてくれた。でも、その顔は今後の自信と満足に満ち溢れていました。

## 光と色の環境デザイン

日本建築学会編  
B5版 165ページ  
著者 稲垣卓造建築学科教授 他  
出版社 株式会社 オーム社  
発行日 2001.6.25



魅力的な教育がしづらいと言われてきた建築の環境工学において、人間の視覚に関わる「照明視環境」の分野は、比較的ビジュアルな方法論が展開しやすいところである。しかしながら、実際の講義では個々の先生方がご自身で撮られたスライドを駆使するなど、「スタンダード」な資料が乏しく、講義内容に偏りが見られるのが実情である。

そんな教員サイドの悩みを解決するために企画されたのが本書である。ビジュアルで「ピンとくる」ことを狙いに、図表、写真がふんだんに盛り込まれることが、執筆分担する著者達に要求された。私自身も、好きなカメラをかついで、写真撮影に奔走したことが懐かしく思い出される。横浜では初夏の狂ったような暑さに汗だくなり、底冷えする大阪ではシャッターを押す指先がかじかみ、博多の出張は身内の葬儀を終えた数日後であった。そんな甲斐もあって、今手元にある本書には満足感が大きい。心残りと言えば、内容を詰め込み過ぎたため、写真の大きさがもの足りず、若干迫力不足となってしまったことだ。この4月からの4年生のゼミで、学生達がどういった反応を示すか、楽しみと言える。

# 西オーストラリアでの水文・気象観測

都市環境デザイン学科  
教授 下島 榮一



西オーストラリアの州都パース(Perth)は南緯32度(注:鹿児島市は北緯32度)に、インド洋に面して位置し、「世界で最も美しい庭園都市」、「世界で最も孤立した100万人都市」と言われている。そこでの気候は温暖で、地中海性気候を示す。年降水(雨)量は約870mm(日本での半分)であるが、その多くは晩秋～初春(5月～10月)に見られる。この都市より東方に約90km行った Bakers Hill と呼ばれる地域にオーストラリア科学産業研究機構(CSIRO)の試験地(Yalanbee)があり、そこで下記に紹介する水文・気象観測を行っている。ここにCSIROとはCommonwealth Scientific and Industrial Research Organizationの略名で、オーストラリア政府の研究所である。

本観測は、『西オーストラリア半乾燥地での蒸発・降雨 塩類集積の関係』を調査し、その仕組みを解明すると共に、そこでの水収支をも検討するために実施している。この研究は文部科学省・科学研究費(基盤研究B(海外学術調査))の援助を受けており、実施期間は2000年度～2002年度の3年間である。海外調査は日本側研究者が独自で行えるものではなく、調査実施国(対応機関)の研究の理解と実施に際する協力が不可欠である。幸いにも、筆者は、約15年前よりCSIRO(Division of Land and Water)と研究上の繋がりをもっていたため、本研究計画を比較的容易に立てることができた。研究課題は学際的な内容であるため、筆者(専門分野は水文学)の他に、本学の堀内将人教授(環境工学)、岐阜大学の玉川一郎助教

授(気象学)、CSIROのJeff Turner博士(同位体水文学)の協力を得て研究組織を構成している。

Yalanbee 試験地(写真1参照)での裸地帯は厚さ30～40cmの砂質の表層とその下方の粘土層で構成されているようであり(詳細は今年に調査予定)、その周りには植生域(ユーカリ)が見られる。この裸地帯に2台の気象タワーを設置し、異なった高さ(～m)での大気の温湿度や風速・風向を計測すると共に、日射強度とその地面よりの反射量などを計り、その10分平均値データをロガーに連続して収録している。温湿度データと風速データを用いて、地上での鉛直方向の水蒸気フラックス(地面蒸発量)などが推定できる。また、地中では、種々の深さでの温度、含水量・水圧・導電率や地下水位を計っている。これら温度や輻射熱の情報より、地表面での熱収支の構造も調べられる。さらには、時折、地表面直下にポータブルの温湿度センサーを差し込んで水蒸気情報を入手すると共に、直接に砂質層の土壌を採取して、含水量や塩濃度の鉛直分布を調べている。

1～2ヶ月に一度、ロガーに収録したデータのPCへの取り込み(写真2)や観測器類の電源(自動車用バッテリー;太陽電池も使用している)交換の作業がある。特に乾季には、水分を求めて目や唇などにまとわりつく'too friendly'なハエ(羊につくもので、汚くないとか)を追っ払うのに一苦労である。また強い紫外線を避けるための備えなどが必要であるが、筆者などはお陰で、年中、日焼けが絶えない。

2000年12月～2001年11月までの総降雨量は390mmと観測され(Perthの半分)、その大半は5月(全体の17%)と7月～10月(73%)に集中していた。夏季、日中の気温が40℃に達したり、湿度が20%を下回る日もあったが、とにかく大気は非常に乾燥している。

そこでの蒸発のソースは冬季の降雨が地面に浸透した水である。蒸発に伴って、土壌水に溶解していた塩類(卓越イオンはNa<sup>+</sup>、Cl<sup>-</sup>など)が地面付近に集積するが、特に夏季(1月～3



気象観測データの取り込み作業 写真2  
(Robert Woodbury(CSIRO)による)

月)では、地面全般に塩析出が起こり、厚さ数mmのクラスト(殻)が形成されていた。他方、雨季では、多量の降雨によって地下水面上昇して地表面に湛水と表面流が起こっていたが、このような段階で、乾季での塩類集積の緩和や塩類の流出(消失)が起こっていると推測された。今までの土壌採取時に抽出された土壌水は低くても海水程度の濃度となっていたが、このように、年単位で塩類集積・消失の過程が長年にわたって繰り返されているようである。また、地中での水蒸気の測定結果は、乾季での蒸発が地表面より下方で生起していることを示したが、このような状況はわが国のような湿潤地帯では、普通見られない。塩クラストなどの塩類集積が地中での水蒸気輸送(蒸発過程)に及ぼす影響の解明は、筆者やJeff Turnerが従来から興味をもって研究してきている課題である。

塩類集積・蒸発の研究は現地観測を通してのみではなく、実験的にも、本学の環境土木実験室(部屋の温湿度が制御できる)で行っている。実際、現地の土壌の水理・熱特性を調べたり、この砂を用いた蒸発実験を行うため、昨年、Yalanbeeの砂を約150kg輸入した。その際、農林水産省・名古屋植物防疫所には大変お世話になったが、衛生上の問題もあって、輸入した乾燥砂をオーケレープで殺菌(砂は残念ながら高温の水蒸気で濡らされた)する必要があるなど、入手の手続きは簡単ではなかった。現在、この砂を使った蒸発実験が、当研究室の大学院生や卒業生によって、鋭意行われている。ここでは、見事な塩クラストが見られるが、今後、現地との比較・検討が楽しみである。

以上まとまりのない文章となったが、本学の測定器類が遠く、名古屋より約8,000km離れた南半球、西オーストラリアの地に設置され、そこでの自然を観測しつつある現状を紹介した。



Yalanbee 試験地(白く見える地表面は塩クラスト) 写真1



# 海外留学報告

都市環境デザイン学科 講師 嶋田喜昭

この度、本学より1年間の海外留学の機会をいただき、昨年9月よりアメリカ合衆国オレゴン州立大学(本学の姉妹校)にきています。ここには今年の5月まで9ヶ月間滞在し、



初めての Rafting (ホストの Bell 教授と)

さまざまな交通政策の評価手法に関して調査する予定です。その後、6月より3ヶ月間はカリフォルニア大学パークレー校に滞在し、交通研究所のプロジェクトチームに参加する予定になっています。



さて、こちらに来て早々にあの悲惨なテロ事件があり、アメリカ国民は非常なショックと悲しみに暮れたわけですが、一方で軍隊希望者が増えたり、ブッシュ大統領の「これは戦争だ」という言葉に賛同して大統領支持率が一気に上がったりと本当のところの感情は解りかねます。

ともあれ犠牲者のご冥福をお祈りしたいと思います。それ以降、星条旗が爆発的に売れ、一時は街中星条旗だらけになりましたが、今は平常に戻りつつあります。しかしながら、あるテレビ番組で子供が「どうしてテロ達は自らの命を捨ててまであんなことをして、そんなに怒っているのか?」と質問したのに対しては、解説者ともども絶句していましたが、早く本当に平和な世界になってほしいものです。

アメリカに来て本当に色々な経験ができたと思っています。もちろん自らが働きかけないといけません、下手な英語でも主張すれば皆それを認めてくれますし、また個々人の存在感が強く感じられます。何事も当たって砕ける精神が大事ですね。今はそれがだんだんと億劫になっていますが、こちらに来た当初、住む家も車もなかったことを考えると、何でもやればできるものだと思信しています。(またそうしないと生活できませんが。)少々抽象的ですが、学生の皆さんにも是非、短期留学等をお勧めします。

アメリカに来て感じたこともたくさんあります。全部はとても紹介できませんが、大学の講義に関して1つ。私は、英語の勉強にということで、秋のタームに学部の講義を聴講させてもらいました。ちなみに、季節ごとに年間4タームあります。こちらでは1つの科目に対して50分授業を週2、3回に分けて行っていますが、学生の真剣さと質問の多さには驚いています。50分という時間の区切りもよい影響を与えていると思います。レポート課題も非常に多いのですが、皆真面目に提出することはもちろん、特筆したいのは自分自身の理解をぶつけてくることです。私はここまでできたが、その先はわからなかったというふうに。誰も他人のものを写そうとはしません。日本の大学でよく見られる形骸的なレポート提出は意味がないことを皆が知っているのです。教える側も皆がどういう所でつまづいているか把握できるし、そうしたコミュニケーションが非常に大事だと感じました。なお、その他については、また機会があれば報告したいと思います。

今、本当に贅沢な時間を過ごさせてもらっていると感じています。これが無駄にならないようにしたいと思います。私が不在の1年間、皆さんにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしく願います。



OSU のキャンパス(図書館前)

## クラブ活動報告

### ダンス部

中部日本プロアマ級別ダンス競技  
アマ・ラテンD級チャチャチャ  
宮田敬三・原子和美組が  
福井・富山両大会で優勝!



中部日本プロアマ級別ダンス競技大会  
富山大会(日本ボールルームダンス連盟中  
部総局主催)が11月11日、高岡エクール  
ホール(富山県高岡市)で開催され、アマ・ラ  
テンD級チャチャチャ(出場26組)に出場し  
た宮田敬三くん・原子和美さん組は福井大  
会(ノービス級チャチャチャ)に引き続いての  
優勝を果たしました。

宮田・原子組は、定期練習日(水・木曜  
日)4時間余の練習を続け、更に大会2週間  
前の練習では、沢上ムライダンス教室(金  
山)へ通い、本学卒業生の伊藤氏の指導を  
仰ぎながら、連日6~7時間の猛練習が実っ  
ての優勝でした。

「喜びの声」

取れるとは、思っていなかった。出来栄は  
やや不満だったけど優勝できてラッキーで  
した。

中部日本プロアマ級別ダンス競技富山大会  
アマ・ラテンD級 チャチャチャ

優勝 99 D 宮田敬三・99 A 原子和美

10/14 中部日本プロアマ級別ダンス競技大会  
ノービス級 チャチャチャ

優勝 99 D 宮田敬三・99 A 原子和美

### 陸上部

## 師走~元旦を快走!

12月9日(日)東海シティマラソン、1月1  
日(元旦)元旦ロードレースと2大会連続して、

陸上部4名が上位入賞を果たしました。

東海シティマラソン(東海市教育委員会  
主催)は、参加選手227名と多数出場し、途  
中アップダウンのあるハードなコースでは  
が、大和、片桐の両君が2・3位に入るなど、  
大活躍をしました。

元旦ロードレースは(愛知陸上競技協会  
主催)年末合宿(12月25日~28日)と年  
始合宿(1月5日~8日)の間に行われた日  
本陸連公認の大会で、参加選手32名、実業  
団チームの若手・中堅クラスの選手が出場  
しました。

レースは、前半、本学の選手4名を含めた  
8名でトップ集団を形成し中間の5km 余まで  
推移、後半、ペースが上がりがり7km 付近で、宇  
野、大森両君がトップ集団から離されたが、  
残り1km から大和、片桐両君と他選手との3  
選手の激しいトップ争いを演じ、最後はス  
ピードに勝る大和君が追いつがる片桐君を  
振り切ったの優勝でした。



### 元旦ロードレースの結果(10km)

01 J 大和立幸	1位	32分33秒
01 E 片桐雅樹	2位	32分41秒
01 M 宇野彰紘	6位	35分04秒
00 M 大森弘之	7位	33分19秒

### 東海シティマラソン大会(10km)

01 J 大和立幸	2位	32分16秒
01 E 片桐雅樹	3位	32分41秒
00 M 大森弘之	5位	33分59秒
01 M 宇野彰紘	12位	35分43秒

### 11/10 第3回駅伝強化長距離競技会

00 M 大森弘之	5000m	15分37秒4
01 J 大和立幸	5000m	15分21秒6
01 M 宇野彰紘	5000m	15分51秒2
01 E 片桐雅樹	5000m	16分22秒8

10/20~21

### 第28回東海学生陸上競技秋季選手権大会

00 M 大森弘之	5000m	15分58秒10
01 M 宇野彰紘	5000m	15分52秒69
01 E 片桐雅樹	5000m	16分04秒80

### スキー部

## 中部学生スキー 大回転で 中嶋雄一君が優勝!

第47回中部日本学生選手権大会(中部  
日本学生スキー連盟主催)1月9日、長野県  
白馬村岩岳スキー場で大回転競技が行わ  
れ、中嶋雄一君が3部優勝を果たしました。

### 大回転3部

(全長1191.4m、標高差276m、旗門数31)

98 E 中嶋雄一	1分04秒13	1位
-----------	---------	----

### 空手道部

## 団体組手で優勝!

11月25日、皇學館大學で開催された「第  
10回三重県大学高専空手道選手権大会」  
(三重県大学・高専空手道部OB会主催)  
団体組手種目で優勝、団体型種目でも準優  
勝を果たしました。個人種目では、夏山君が  
型で準優勝、今井さんが女子組手、型の両  
種目で優勝を果たすなど大活躍をしました。

団体A(組手) 優勝

団体B(組手) 1回戦

団体A(型) 準優勝

団体B(型) 7位

個人(組手)

99 M 鈴木 純 ベスト16位

99 M 廣瀬晴夫 ベスト16位

99 M 管 春樹 ベスト16位

01 E 加藤 正 ベスト8位

99 E 三階繁輝 ベスト8位

個人(型)

99 M 管 春樹 ベスト16位

00 M 箕浦正和 ベスト16位

00 A 夏山洋一 準優勝

女子個人(組手・型)

01 C 今井野衣 優勝

### 10/14 秋季東海地区大学空手道選手権大会 組手

99 M 鈴木 純 2回戦

- 99 E 大矢充朗 2回戦
- 00 A 夏山洋一 2回戦
- 00 C 石川聖子 2回戦
- 00 M 箕浦正和 2回戦
- 01 D 古川崇史 4回戦
- 01 E 加藤 正 ベスト8
- 01 C 今井野依 3回戦

- 大同工大 3 - 1 南山大学
- 大同工大 0 - 1 岐阜経済大学

- 大同工大 0 - 3 愛知産業大学

### マルチメディアマックス部

## 加藤君大健闘3位入賞!

12 / 15 真・女神転生TCG公式大会

- 99 C 加藤 貴 3位
- 99 E 大橋正昭 22位
- 99 D 佐久間順 17位
- 01 E 吉田昇平 15位
- 00 E 日置龍太 27位

11 / 11 真・女神転生TCG大会

- 99 C 加藤 貴 2勝3敗

10 / 28 F Bカップ名古屋

カードゲーム

- 01 M 戸田紳一郎 2勝1敗2分

### ラグビー部

10 / 7 ~ 11 / 18 東海学生ラグビー対抗戦

- 大同工大 0 - 41 信州大学
- 大同工大 0 - 6 藤田保健衛生大学
- 大同工大 30 - 5 岐阜聖徳大学

### JAZZ部

11 / 3 大東文化大学「大東祭」

大東文化大放送部主催「DA Project」参加

### ハンドボール部

## 優勝候補日体大に善戦!

11 / 13 ~ 18

全日本学生ハンドボール選手権大会

- 大同工大 18 - 28 日本体育大学

### 漕艇部

## 中部学生新人選手権大会 ダブルスカルで準優勝!

中部学生漕艇連盟主催「第30回中部学生新人選手権大会」が10月20日、21日愛知池コースで開催され、男子ダブルスカルで準優勝を果たしました。

- 1位 岐阜経済大学
- 2位 大同工大学  
(01 J 安藤徹哉、01 E 石丸剛士)
- 3位 中京大学
- 4位 愛知工業大学
- 5位 静岡産業大学
- 6位 愛知大学

### 硬式野球部

## 98M加嶋哲也君 打撃賞を獲得するも 入替戦で敗れ 3部に降格!

9 / 1 ~ 11 / 7 愛知大学秋季リーグ戦(3部)

リーグ戦 2勝9敗1分 5位

- 大同工大 0 - 15 愛知教育大学
- 大同工大 2 - 3 愛知教育大学
- 大同工大 4 - 4 名古屋経済大学
- 大同工大 1 - 10 名古屋経済大学
- 大同工大 1 - 12 名古屋経済大学
- 大同工大 4 - 17 愛知学泉大学
- 大同工大 3 - 4 愛知学泉大学
- 大同工大 1 - 11 日本福祉大学
- 大同工大 3 - 9 日本福祉大学
- 大同工大 2 - 6 南山大学
- 大同工大 14 - 11 南山大学
- 大同工大 8 - 6 南山大学

入替戦

- 大同工大 4 - 3 愛知産業大学
- 大同工大 1 - 2 愛知産業大学

## 第38回 錦杯学内レガッタ大会

### 一般の部で山田錦が5連覇!



クラブ委員会主催の博学恒例の学内レガッタ大会が11月11日(日)庄内川ポートコース(中川区)出漕41クルー(一般21、クラブ20)205名が競った。当日は好天に恵まれて、各クルーの応援団がお祭り気分、堰堤から声援をおくっていました。

大会は、一般の部でOBの山田錦が5連覇を成し遂げるなど、入賞クルーは豪華賞品に満足していました。

#### 一般の部

- 1位 山田錦 2位 筋肉室
- 3位 おしいちゃんガンパツ!
- 4位 ピクシー1

#### クラブの部

- 1位 まんまる大先生(バイク部)
- 2位 硬式野球部
- 3位 バスケットボール部
- 4位 チーム05t(EDPS)

### レーシングカート部

## 磯貝君、 全国大会で大健闘!

10 / 27 ~ 28 第25回トヨタSL全国大会

- 99 M 磯貝真典 SSストッククラス 8位

10 / 7 2001鈴鹿選手権シリーズ第8戦

- 01 M 伊藤邦彦 86 O P 決勝 18位

10 / 27 ~ 28 第25回トヨタSL全国大会

### サッカー部

9 / 16 ~ 28 東海大学サッカーリーグ戦(3部)

3勝4敗 6位

- 大同工大 1 - 4 三重大学
- 大同工大 0 - 3 四日市大学
- 大同工大 4 - 1 愛知工業大学
- 大同工大 1 - 2 静岡県立大学
- 大同工大 4 - 3 朝日大学

## 中央職業能力開発協会から 感謝状を受ける



11月13日、「平成13年度職業能力開発関係表彰式」が明治記念館(東京都港区元赤坂)で行われ、近藤 巖情報機械システム工学科助教授は、三好俊吉中央職業能力開発協会会長から、感謝状を受けられました。愛知県技能検定委員として、職業能力の開発及び永年になつて技能検定の推進と普及に寄与されて表彰を受けられました。

## 中部地方発明表彰 「特許庁長官奨励賞」受賞



11月15日、平成13年度中部地方発明表彰において、リエゾンオフィスの磯川憲二氏は、大同特殊鋼株式会社技術開発研究所中村所長、特殊鋼研究部藤井主任研究員とのH C 鋼「直接切削・高周波焼入鋼材」研究について、「特許庁長官奨励賞」を受賞されました。

本発明は、自動車の等速ジョイント・ドライブシャフトやリヤアックスシャフト等動力伝達機構に使用される『直接切削・高周波焼入鋼材』に関するもので、自動車の軽量化、コスト低減に大きく寄与しています。

## 平成13年度粉体粉末冶金協会 秋季大会開催



10月30日から11月1日の3日間、本学コピーホール、図書館大会議室及び本館14階交流室において、発表論文221件、520余名の参加者もとて開催されました。

## 澤岡学長再任

12月13日の理事会において、3月で任期満了となる澤岡昭学長が再任されました。任期は平成14年4月1日から3年間。

澤岡学長は、昭和37年北海道大学理学部理学部物理学科卒。東京工業大学教授、文部省宇宙科学研究所教授を経て平成11年4月から本学学長に就任。



## 児童福祉文化財の推薦を受ける



橋本博美外国語教室助教授の翻訳絵本「マルーシャ、またね」、「いつかどんぐりの木が」岩崎書店発行が11月20日、厚生労働省社会保障審議会から児童福祉文化財推薦図書として指定を受けました。

## 博士後期課程 顧莉薇さん学位を取得

顧莉薇(こう りうい)さんは、1987年12月上海電視大学機械工学学科卒、名古屋大学工学部材料プロセス工学科研究生、本学大学院修士課程機械工学専攻を経て、1999年3月博士課程材料・環境工学専攻を満了し、この程、学位審査(指導教授：中島浩衛)が行われ、12月27日博士(工学)の学位を取得されました。

学位論文：薄板材料のプレス成型における成型難易に関する研究



## 情報学部情報学科が認可される



認可ポスターがJR名古屋駅コンコースに掲出

平成14年4月開設に向けて文部科学省に情報学部情報学科設置認可申請中(工学部電子情報工学科改組)のところ、12月20日認可通知を受けました。

入学定員  
昼間主コース147名  
夜間主コース40名

## 「SIGGRAPH 2001 Art Gallery」で入選



CGの世界最大の祭典「SIGGRAPH 2001 Art Gallery」(ACM SIGGRAPH主催)で、横山弥生情報学部客員助教授の「Crystal Flower」という作品が応募者数：約700点から入選(約90点)されました。

「SIGGRAPH」とは、コンピュータグラフィクスやインタラクティブ技術の分野での最先端の研究発表や、アプリケーションの実演、作品発表など自由な表現のための年に一度夏にUSAで行われる世界的な祭典です。72カ国、4万人もの人のこの集まりには、その定義に挑む驚くべき技術的・教育的イベントにおいて、議論や貢献や討論をするために、学問やビジネスなどのさまざまな分野の人々が参加します。科学、芸術、医療、エンターテインメント、情報、教育、およびその他の興味深い分野における、コンピュータグラフィクス表現やインタラクティブ技術の結集が2001年はLos Angelesで開催されました。



作品タイトル:「Crystal Flower」花結晶  
(約100点からなる花の結晶をイメージした作品から12点を抜粋して掲載)

## 講演と映画の夕べ

大同工業大学プレゼンツ「講演と映画の夕べ」(朝日新聞社共催)が、11月26日、愛知県勤労会館で開催され、1,200余名の方々が訪れました。

2002年4月、情報化社会を担う人間味豊かなITエキスパート育成をめざす「情報学部」が新たに誕生しますが、これを記念して、本学客員助教授の横山弥生先生によるCGの歴史とその魅力を紹介した特別講演「映画におけるCGという新しい視覚表現」と話題のCGファンタジー大作「シュレック」の映画試写会が



開催され、特に講演では、貴重なメイキング映像も披露されるなど新鮮で興味深い説明に好評を集めました。



## オータムフェスティバル2001



10月28日、オータムフェス2001(地域別県民文化大祭典2001実行委員会主催、愛知県、名古屋市、各市町村教育委員会後援)が、大同高校体育館で開催されました。

この祭典は、名古屋南部地域(熱田、港、南、緑、豊明市)の私学父母、生徒及び教師達を中心となって、「愛知私学の元気な姿を一人でも多くの県民に知って頂くことを目的」として毎年開催されています。本学からも、関谷研究室「おもしろ実験」プラズマによる吸塵装置、オゾンに

よる污水处理などの実験が紹介され、訪れた中学生、高校生らは汚れた空気が一瞬に綺麗になったり、赤・青の水が透明になっていく実験に驚いていました。





## 7年間の歳月を 過ごせて

電気電子工学科教授  
高田 和之



平成7年4月、大同工業大学の電気工学科の教授として赴任して、やがて7年の歳月がながれる。それまで、30年近く非常勤講師としてお手伝いしてきたので、赴任にあたってそれほど違和感はなかったものの、この7年間の変化、殊にここ2、3年の変化は著しく大きい。それは、大学をめぐる環境の変化と、時代の流れとが主な要因ではあるが、その変化率の大きさには驚くばかりである。

その7年の変化のなかで、研究と教育とにひたすら専念できたことは、まことに幸いなことで、有り難いことであった。よき教育は、真の研究者によってなされるという信念のもとに、「生体情報に関する研究」に専念してきた。優れた共同研究者と、8名の真摯な大学院生とに恵まれ、楽しい研究生活で、共に作り上げた査読論文は32を数え、著書は2冊できた。著書は長い教育歴の集大成である。うち1冊は5刷を終わり、他は3刷を印刷中である。8名の院生のうち1名は博士の学位が取れる数の論文数があり、他の1名も確実にとれるまでの成長が期待できる。その日の来るのをたのしみしている。

赴任して間もなく、大学は博士課程の完成をみて、論文博士の誕生可能な時期にきていた。制度ができあがれば、論文博士を誕生させることは必須の条件であるので、それに対する努力をし、その結果として論文博士第1号の誕生をみることができたのは、幸せであった。その後、数人の論文博士が生まれているが、さらに多数の博士が、卒業生のなかから生まれることを願ってやまない。それに

は、卒業生の諸君がもっと大学を訪れてくださることが必要なのである。

学生時代から続いている日本学生陸上競技界への面倒は、相変わらずみているので、学生の全国大会にはかかさず出席している。33年前に自分達が作りあげた名古屋 - 伊勢間の全日本大学駅伝には現在も全面的に関与し、伊勢神宮で毎年購入してきた干支の土鈴も3巡目になっている。大同工大の陸上競技部の選手諸君がいつの日にかこの駅伝に出場してくれることを楽しみにしている。決して夢ではないので頑張ってください。

趣味として続けてきた、浮世絵師「東洲斎写楽」に関する資料の収集や、その結果としての写楽に関する公開講座や講演会を数回開催するなど、それぞれに充実した忙しい日々を送ることができたことを感謝している。

昔、能管(のうかん)にうつつをぬかしたことがある。能管とは能を上演するときに演奏する囃子(はやし)に用いる横笛である。竹を細かく割って固い外の皮膜を内側に作られるので、相当に太い。したがって、音を出すのが大変で、なまじっかな稽古ではものにならない。名古屋には、尾張藩お抱え笛方(ふえかた)として400余年の歴史をもつ藤田流があり、当時、先代の10世家元藤田六郎兵衛師の弟子となり、朝、昼、晩と笛を吹いていた。稽古、稽古、稽古で、自然に身に付けることを目指した。まだ、学位を持たない頃で、いつも学位のことが頭の片隅にこびりついていて、いまにして思えば、その重圧解消のためむきになって吹いていたのかもしれない。

囃子方には、笛、小鼓、大鼓(おおかわという)のほか、太鼓(たいこ)が入ったり、はいらなったりする。これらの各パートが互いに8拍のリズムで個々に自己主張をし、結果的に総合的に能囃子が成立する。決して他に合わせようとはしない。あくまでも自己主張をして、お互いが他を引き込もうとする。そこに勢いが生まれる。驚くことは、稽古はおのおのが個々にやるだけで、他と一緒に稽古することはない。舞台ではじめて合わせて、それが成

立することである。8拍のリズムの自己主張のみがそこにある。それが、日本の伝統芸能のすごさなのである。

そんな、工学とは縁のない世界で、笛方藤田流においては素人で初めてという「石橋(しゃっきょう)の獅子」の舞台をつとめることができたのは、誇り高い貴重な体験であり、ありがたいことであった。その後、日本の楽器界で作り得なかったプラスチックの能管を安価につくることに成功し、その性能の良さと、音色の安定性とともにいささか斯道に貢献できたことをエンジニアの一人として自負している。

この8拍のリズムの自己主張と、勢いとが、以後の人生にしみつき、大同工大における研究と教育とに生きている気がする。人生の回り道の無駄な時間は、いつか肥やしとなって生きてくると思われる今日のごころである。

なにはともあれ、7年間の間、大同工業大学において有意義に、かつ楽しく過ごさせていただけたことに対して、深甚なる敬意と謝意を表する次第である。

### 資料

7年間とっていた新聞・雑誌:

朝日新聞、中央公論、新潮45

7年間に鑑賞した舞台:

歌舞伎16回、狂言8回、長唄4回、(除TV)

7年間に購入したCD/VT:

落語84 / 20、クラシック多数

7年間に収集した写楽関連の資料(書籍・カタログなど):55点以上 詳細不明

7年間に参加した競技:

陸上競技全国大会56、ゴルフ0

(2ゴルフ場のメンバーです)

7年間に勉強した回数:無限

飲んだ回数:無限+

7年間のよき思い出:

8年間在籍した学生が堂々と卒業したこと。  
悪い思い出:1あり

目下、「中島敦全集」全3巻が刊行中で、大同工大のよき思い出のために購入中。



# 平成13年度の就職状況と 3年次生就職担当 教員からのアドバイス

就職指導部長 井上茂樹 教授

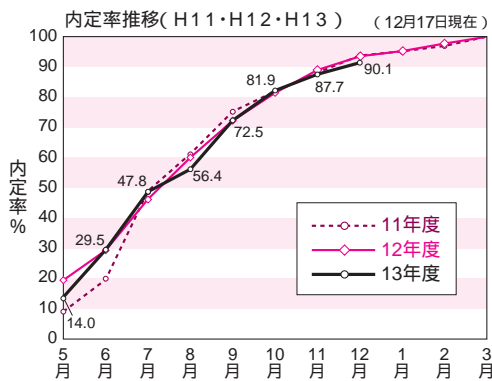


就職ガイダンスで口を酸っぱくして、「就職の鍵は自己分析にあり」と言っております。皆さんは自己分析を終えましたか?毎年このことから、就職に苦労した学生、なかなか内定をもらえない学生から、「もっと早くから準備しておけばよかった」との反省の声を聞きます。

ガイダンスやスーパーガイドに従って、厳しく自分と対峙して準備を進めてください。皆さんの自分勝手な判断は決して良い結果を生みません。どんな相談でも恥ずかしがることなく、一刻も早く就職指導部、卒研指導や就職指導の先生の所に来てください。

## 1 就職内定状況

厳しい経済状況下において、本学の就職内定率90%（12月17日現在）と高く、近隣工科大学の就職内定率を今年も上回って推移している。これは、本学卒業生の就職先での活躍が評価されていることが大きな要因である。不況下にあっても、面倒見の良い大学のキャッチフレーズに負けないう、100%内定に向けて努力していきたい。



## 2.平成14年度(現3年次生)就職スケジュール

3年次生は2月から企業訪問スタート

3年生の皆さんは自己分析が出来ましたか?自分はどうの職業のどのような職種に向いていると考えますか?自己を知ること、相手方の研究、即ち、業界研究や企業研究が不可欠です。次のステップはいよいよ行動開始、就職支援ページの企業情報検索システムやインターネットで情報を入手し、積極的に会社説明会やセミナーに参加し、企業訪問を行いましょう。とりわけ、2月27日(水)午後の本学主催の企業説明会には、名古屋国際会議場に200社の優良企業をお招きします。必ず出席し、希望の会社にエントリーしましょう。

就職試験の最大の難関は面接です。学生時代に何に打ち込んだか、どうして当社を希望したのか、当社に入って何をしたいのかについて必ず聞かれます。自己分析と企業研究を十分にやり面接に臨んで下さい。君の意欲が相手の扉を開くカギです。

### 平成14年度就職指導スケジュール大綱

月 日	内 容
1月22日(火)~23日(水)	大学院生就職ガイダンス
1月25日(金)~31日(木)	第4回就職ガイダンス[企業研究、企業訪問マナー]
2月12日(火)~13日(水)	就職自己表現テスト
2月14日(木)~20日(水)	第5回就職ガイダンス[希望職種等記入指導、個人面談]
2月27日(水)	本学主催企業説明会
2月22日(金)~28日(木)	S P I 対策講座 - 希望者対象
3月1日(金)~15日(金)	公務員試験対策講座(後期) - 希望者対象
3月4日(月)~13日(水)	大手・上場企業対策講座 - 希望者対象
3月18日(月)~20日(水)	面接対策講座 - 希望者対象
3月26日(火)~27日(水)	第6回就職ガイダンス[面接のマナー、履歴書の書き方]

## 3 就職担当教員から就職一口アドバイス

機械工学科 小野宗憲教授・伊藤昇一教授



小野教授

就職戦線は依然として厳しい状況が続いています。企業の求人活動が早まっている現状において、一日も早く就職活動を開始する事が極めて重要です。そこで、まず自分の就職に対する条件、すなわち自分の就職はどうあるべきかを明確にすることが不可欠です。そのためにはスーパーガイドを活用し、自己分析、自分の将来、自分のやりたいこと、自分のセールスポイント等を紙に書き出してみてください。そうすれば、自分の就職活動の方向が見えてくるはずですよ。

また、就職活動には積極性が極めて必要です。君達の積極的な就職活動を期待すると同時に、私達も就職指導室と一丸となって支援します。



伊藤教授

電気工学科 近藤芳孝教授



今年の就職戦線は、新聞紙上で毎日話題になっているように高失業率の時代を背景にしていますから例年以上に厳しいものになると予想されています。皆さんもそのことをヒシヒシと感じ取っているとおもいます。しかし、就職しようとの強い意向とそこから生ずる行動があれば道は拓けると確信しています。軟弱な意向ですと、競争にうち勝てないばかりか、そんな状態での行動は、マイナス要因が当人ばかりでなく大学にも降りかかってきます。

建設工学科 土木工学専攻 下島榮一教授



諸君の多くは、就職して30年間は働くことになるでしょう。そうすると、就職先を決めることは、大学受験で、大学を選ぶことよりも重要となるはずですよ。自分は将来何をしたいのか、またどのような分野で社会に貢献したいのか等、自分自身の考えをまとめておくことが先決です。そのためには仕事や就職先の内容を十分に調べる必要があります。

就職活動に際して、先生方は相談にのってくれ、また色々アドバイスしてくれるでしょうが、最終決定するのは学生諸君自身です。卒業生を見ていると、短期間で、就職先を変えてしまうものも少なくないので、安易な妥協は避けるべきです。要は、学生諸君の悔いのない就職活動を期待しています。

建設工学科 建築学専攻 瀬尾文彰教授



建築の場合、仕事の内容が幅広く、業種も多岐にわたっています。建築設計は芸術がかった夢を描くような仕事ですが、その夢を現実のものとするために現場でのづくりを指揮するのは施工管理という仕事です。そのほかにも、マンションなどの開発企画を行うデヴェロッパーと呼ばれる業種や、ハウスメーカー、インテリア、建築設備などさまざまな仕事があります。そのうちの何を自分はやるのか、やりたいのか。そのことをよく考え、自分が納得できる自分の進むべき方向づけを、まず、はっきりさせましょう。

応用電子工学科 愛知久史助教授



就職、それは人生の中で、ひとつの大きな節目であろう。これまで学校という場で先生や先輩たちから沢山のことを学び、成長してきたと思う。

職に就くと云うことは、プロとなることである。学生諸君が就職試験を受けるとき、基礎学力が必要であることは当然であるが、それ以上に企業サイドは社会人、企業人に相応しいプロとしての素養を面接試験でチェックをしている。その一つとして、人との会話ができて、自分の意見をはっきりと述べられることである。

明るく、元気に若者らしい就職活動を行って下さい。

(就職指導室)

## CRCニュース

### 「特許流通フェア中部2001」に出展

特許庁、中部経済産業局主催「特許流通フェア中部2001」が11月20日～21日、名古屋中小企業振興会館(吹上)で開催されました。

本学から情報機械システム工学科西堀賢司教授、電気電子工学科堀尾吉巳助教授、情報機械システム工学科小森和武助教授が出展し、多数の来場者の関心を集めました。また、開会式では中島副学長が出席しテーブルカットをされました。



### 「おもしろ企業発見市」に初出展

11月21日、三重県中小企業家同友会主催「第3回おもしろ企業発見市」が四日市文化会館で開催され、本学も初参加し出展企業と積極的に交流を図りました。



### 「エントロピー・豊明との交流会」開催

12月6日、本館14F交流室において、愛知中小企業家同友会の豊明地区研究組織「エントロピー・豊明」と交流会が開催されました。

山内客員教授が「超はっ水防汚材料及び機能性内部酸化合金」についてプレゼンがあり、また中部経済産業局新規事業課佐々木課長補佐から「産学連携支援制度」の講演がありました。参加者から具体的な質疑応答が活発にあり、非常に盛り上がった交流会となりました。



### 「トロイダルCVT講演会」開催

12月12日、ジャコ・トランステクノロジー - 株式会社竹内シニアチーフエンジニアの講演会が開催されました。今話題の『無段変速機』について、模型を使った懇切丁寧な講演に機械系学科の教員、学生、院生等約50名が熱心に聴講し、講演後の質疑応答も活発に行なわれました。



### 名鉄大同町駅高架化工事が始まる

名鉄常滑・河和線、大江川から天白川間(約1.7km)の高架橋工事が始まりました。大同町・柴田駅は高架駅になり、踏切も5箇所除却されます。早くから降りる踏切遮断機に泣かされたこと、踏切事故、交通渋滞等が解消されます。

都市計画道路星崎鳴海線柴田架道橋事業(平成3年度国庫補助採択)が平成3年度から地質調査・測量等が実施され平成9年3月28日事業認可を取得。常滑沖の中部国際空港開港に向けて平成20年3月に完成予定です。



## 編集後記

いやいや参りましたね。

新年早々の二日から三日に掛けて、名古屋では41年ぶりの大雪に見舞われた。降雪の中、綿のようにふっくらと積もった歩道に、足跡を付けるのは申し訳ない気持ちで歩いて大学に来たのだが、寒さより、むしろ汗を掻いてしまいました。積雪は途中の大江川緑地では22cm余、滝春キャンパス内でも15～16cm位積もっていました。

社会交流センター

E-mail:pccir@daido-it.ac.jp

大同工業大学ホームページ

<http://www.daido-it.ac.jp/>

クリーン  
キャンパス  
捨てればゴミ  
活用すれば資源  
めざそうクリーン  
キャンパス



## キャンパスカレンダー

### 1月

- 24日(木) 後期定期試験期間  
(休日除く2月6日まで)
- 25日(金) 第4回就職ガイダンス  
(土日除く31日まで)

### 2月

- 3日(日) M方式入学試験
- 7日(木) 前期入学試験(A日程)
- 8日(金) 前期入学試験(B日程)
- 12日(火) 後期追試験期間(2月14日まで)  
就職・自己表現テスト(13日まで)
- 14日(木) 第5回就職ガイダンス  
(土日除く20日まで)
- 18日(月) 大学院後期入学試験(博士課程)
- 19日(火) 大学院後期入学試験(修士課程)
- 21日(木) 後期試験結果通知書配布・異議  
申請受付期間(22日まで)
- 22日(金) 就職・能力試験対策講座  
(土日除く28日まで)
- 27日(水) 就職・企業説明会

### 3月

- 1日(金) 就職・公務員試験対策講座  
(土日除く15日まで)
- 4日(月) 就職・大手工場企業対策講座  
(土日除く13日まで)
- 6日(水) 後期入学試験・委託生入学試験
- 18日(月) 就職・面接対策講座(20日まで)
- 20日(水) 学位記授与式・卒業パーティー
- 22日(金) 学修指導期間(土日除く26日まで)
- 26日(火) 第6回就職ガイダンス(27日まで)
- 28日(木) 在学生オリエンテーション  
(休日除く4月1日まで)
- 29日(金) 在学生健康診断(休日除く4月2日まで)

### 4月

- 5日(金) 入学式

